

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
日本文化論	共通	1年生・後期	2単位	選択	進藤 康子	
履修の前提条件		日本の文化について関心を持っていること。日本語で日常会話が理解できること。				
授業概要 (Course Outline)						
留学生にも親しみやすい資料を用い、なるべく平易に解説する。①戯画・墨絵・浮世絵などの「絵画資料」②歌舞伎・浄瑠璃などの「演劇資料」(ビデオ観賞)③「くずし字」の「文字資料」をわかりやすく交えながら、多彩な日本文化を学ぶ。④俳句を実作指導することにより、日本文化を体感し、より深い理解に到達できるようにする。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					○
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					○
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					
	問題解決力 Problem Solving					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					○
	自己管理力 Self-management					○
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					
生涯学習力 Lifelong Learning					○	
到達目標 (Objectives)						
日本文化の特色、特質の基礎知識を理解できるようになること。また、日本の伝統文化、および歴史を身近なものとして味わえるように、考察を深め、正しく理解してもらえるようになること。歌舞伎や人形浄瑠璃のビデオをみたり、江戸時代の実物のカルタで遊びを体験したり、茶道、書道、武士道、香道などを英訳された資料で補足指導をし、また、俳句、和歌を実作指導することにより、日本文化を体感し、より深い理解に到達できるようにする。						
事前学習の内容	配布プリントを読んで、疑問点などを明確にしておく。					
事後学習の内容	配布プリント、ノートなどを読んで、授業の内容に理解を深めておく。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
授業の内容に関して受講者が自己決定してテーマを設定してレポートを作成する。常に質問意見を受け付ける。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
連絡、問い合わせ、相談、質問は随時授業の終わりに受け付ける。						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション・授業の方針および概観 世界の中の日本文学の特徴 プリント1		
第2回	日本文化と伝統的年中行事 プリント2		
第3回	日本文化と絵画資料1(まんが資料・鳥獣戯画) プリント3		
第4回	日本文化と絵画資料2(浮世絵・ジャポニズム) プリント4		
第5回	日本文化と絵画資料3(かるた)プリント5 【第1回小テスト】		
第6回	日本文化と演劇資料1 (歌舞伎鑑賞と考察) プリント6		
第7回	日本文化と演劇資料2 (人形浄瑠璃鑑賞と考察) プリント7		
第8回	いろは歌「いろはにほへと」「あいうえお」)プリント8		
第9回	俳句の実作(松尾芭蕉・小林一茶・仙涯和尚・与謝蕪村など) プリント9		
第10回	和歌1 和歌の実作(西行・家持など) プリント10		
第11回	和歌2 博多の歌人大隈言道について プリント11【第2回小テスト】		
第12回	物語1 源氏物語と香道について プリント12		
第13回	茶道・華道・弓道・香道・和食などを英訳された資料で補足する プリント13		
第14回	物語2 1回～13回までの中で自己のテーマを設定してレポート作成		
第15回	物語3 レポート内容についてディスカッションする。		
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
プリント配布する			
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
日本文学の歴史9 和歌文学大系 74 草径集	ドナルド・キーン 進藤 康子	中央公論社 明治書院	
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
試験80% 平常点20%(小テスト、受講態度、ディスカッションなどを考慮する) 日本文化の基本事項を理解し、考察を深めることができたか。日本文化を学ぶことにより、自分たちの国の文化も大切にすることを養えたか。			